

2007夏 発達協会セミナー

文字学習の指導 ～読みの学習～

言語・学習指導室 葛西ことばのテーブル

三好純太

本講の概要

- ◎日本語の音韻構造と、かな文字表記について概説する。
- ◎健常発達における、かな文字習得過程を概説する。
- ◎発達障害児を対象とした、文字学習の手法について紹介・解説する
- ◎学習については、文字のレディネス～単語音読 程度までを主な内容とする。

日本語の文字表記

● 文字表記の体系

◎ 3種の文字による表記体系

ひらがな / カタカナ / 漢字

| | |
|------|------|
| 表音文字 | 表意文字 |
|------|------|

(その他) *ローマ字・数字・諸記号*

→ 文章は、漢字かな混交文での表記が原則

● ひらがなの文字種

- 清音 46文字
(「ん」「を」を含む)
 - 濁・半濁音 25文字
- } 71文字

・ 拗音 33文字 / 促音: 小書き「っ」

● 日本語の音韻構造

音素

子音(13個) /k, s, t .../

母音(5個) /a, i, u, e, o/

半母音(2個) /j, w/

* 特殊音素 促音:「きって」 撥音:「とんぽ」
長音:「もうふ」

音節

基本音節: 母音 および 子音+母音

例:[a]

[ka]

* 特殊音節: 撥音・促音・長音
拗音(しゃべる)
拗長音など(しゅうまい)

★日本語の音節数：約140



英語：約3000

ことばの発達と障害 第1巻

「ことばの発達入門」より

●音韻とひらがなの対応

★1音節=1文字が基本原則

[a]=あ

[ka]=か

【非対応なもの】

* 特殊音節

- ・しゃかい／さとう／ぱんだ（1音節—2文字）
- ・ひよつとこ（1音節—3文字）

モーラ(拍)

■ 音韻的な区切れの単位。



- * 日本語は拍の認識が重要(ex:俳句の五七五)

やせがえる まけるないっさ ここにあり

- * 特殊音節では、音節数とモーラ数でズレ

⇒

| | | |
|---|---|---|
| ら | っ | ぱ |
|---|---|---|

 (2音節 / 3モーラ * 3文字)

★特殊な表記形態

- 指文字： かな文字の表音記号
- 点字／キユー・ド・スピーチー：
ローマ字の表音記号
- 手話： 漢字の表意記号

《ひらがなの成立過程》

無文字時代

→ 漢字の導入

→ 万葉仮名の成立

→ カタカナの成立

→ ひらがなの成立(11世紀)

→ 50音図の成立

→ 濁音表記

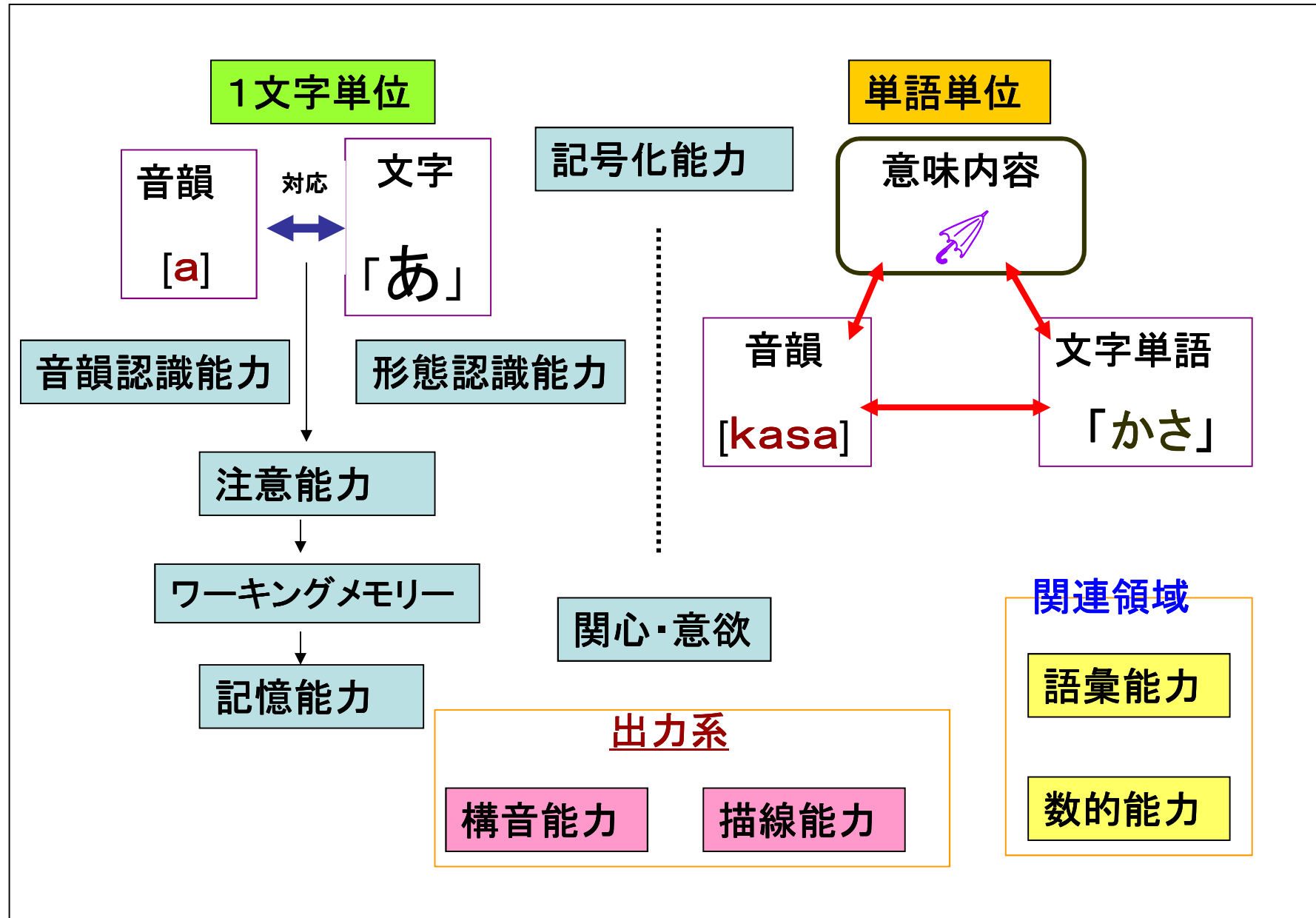
→ 特殊表記

《日本語の音韻の変遷》

- 撥音・促音・拗音 : 平安期に成立
 - 長音 : 中世には成立
 - ハ行音の変化 /p/ → /ɸ/ → /h/
 ※ 語中・語尾は /ɸ/ → /w/
 - 四つ仮名 ぢ・じ／づ・ず → 中世に dʒ / dz に統一
- * 濁・半濁点の使い分けは明治期から、促音・拗音・長音の表記は、「現代かなづかい」から告示・一般化。

文字習得を支える能力

文字習得を支える能力



健全発達における ひらがな習得過程

国立国語研究所による

「**幼児の読み書き能力調査**」結果から

(1967年実施)

「幼児の読み書き能力調査」より

【 読みの水準 】

清・濁・半濁音71文字中の読字数

| | 0 | 1～5 | 6～20 | 21～59 | 60～71 |
|-----|----|-----|------|-------|-------|
| 4才児 | 9% | 18% | 20% | 19% | 33% |
| 5才児 | 1% | 5% | 12% | 18% | 64% |

外的要因) 暦年齢／性差／保育年数／地域

* 文字習得は徐々に早期化している

【 読みの傾向 】

◆文字による難易度

易 清音 → 濁音 → 半濁音 難

(清音文字内)

易 かみのしいひ 難 をほぬはへむ

◆行・段による難易度

易 あ行・か行 難 は行・な行

【 誤反応の傾向 】

- ◆他の文字の読み誤り
- ◆単語・人名を言う(初期段階の子どもに多い)

* 読み誤りの傾向

《清音》 ①形態の類似性 (き⇔さ)

②音声学的類似性 (は⇔ほ)

《濁・半濁音》

清音化／濁一半濁の混乱

【 読みの習得順序 】

清音 → 濁音 → 半濁音

※濁・半濁音の習得は清音と平行

◎読字が数文字可能な段階で書字の習得が始まっている

* 読字数と習得の関連

20字前後 かな文字読み能力の形成

- この後、習得加速化

60字程度 特殊音節(表記)学習への区切り

- 拾い読み→単語読みへ

【 特殊音節の読み 】

◆ 拗音・促音・長音とも

5才児で4割程度の習得状況

易) 促音→長音→拗音→拗長音 (難

* 誤りの傾向

逐次的読みがもっとも多い

= 表記規則の理解が未形成

☆ 基本音節の読みは短期間に進み、特殊音節の読みは遅れる傾向。

●他言語と比較した、ひらがな習得の特徴

★習得が比較的容易とされる

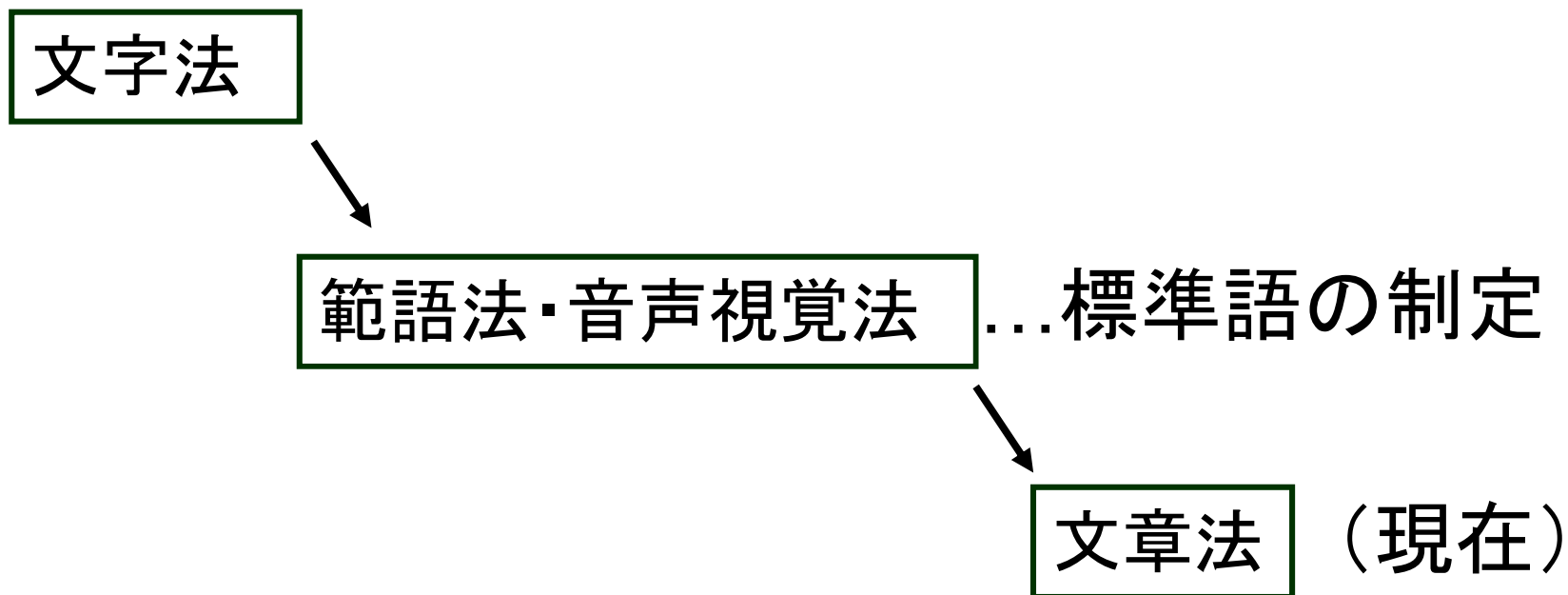
⇒音韻－表記の対応関係が規則的なため

* 英語圏と比較してのディスレクシアの少なさ

♣ 教育制度の中でのひらがな学習

《日本の公教育における文字教育の変遷》

* 明治期以降



「子どものかな文字の習得過程」より

《幼児の文字学習と 小学校での国語教育の相違》

幼児の文字学習

個人差：大

速度：ゆっくり

〈目的〉

文字レディネスの形
音声言語の向上

小学校での文字学習

個人差：小

速度：速い

〈目的〉

読解・作文能力育成
思考能力の育成

障害児の文字学習との
関連が大きい

●音韻認識能力の発達

■音の分解

音節単位→ モーラ(拍)単位 への認識に進展

- ・基本拍は3～4才で可能
- ・撥音・長音・拗音→4～5才／促音→5才以降

■音の抽出

語頭音→語尾・語中音

* 文字習得との関連 大

●文字形態弁別能力の発達

■かな文字の異同弁別

→ 形態 類似性 低: 3~4才でほぼ可能

類似性 高: 読みの進みに従って

可能となる

★文字の習得と音韻認識・文字形態認識は、
相乗的に向上する

●文字習得の段階

① 表現規則の理解 : であらめ読み・疑似文字

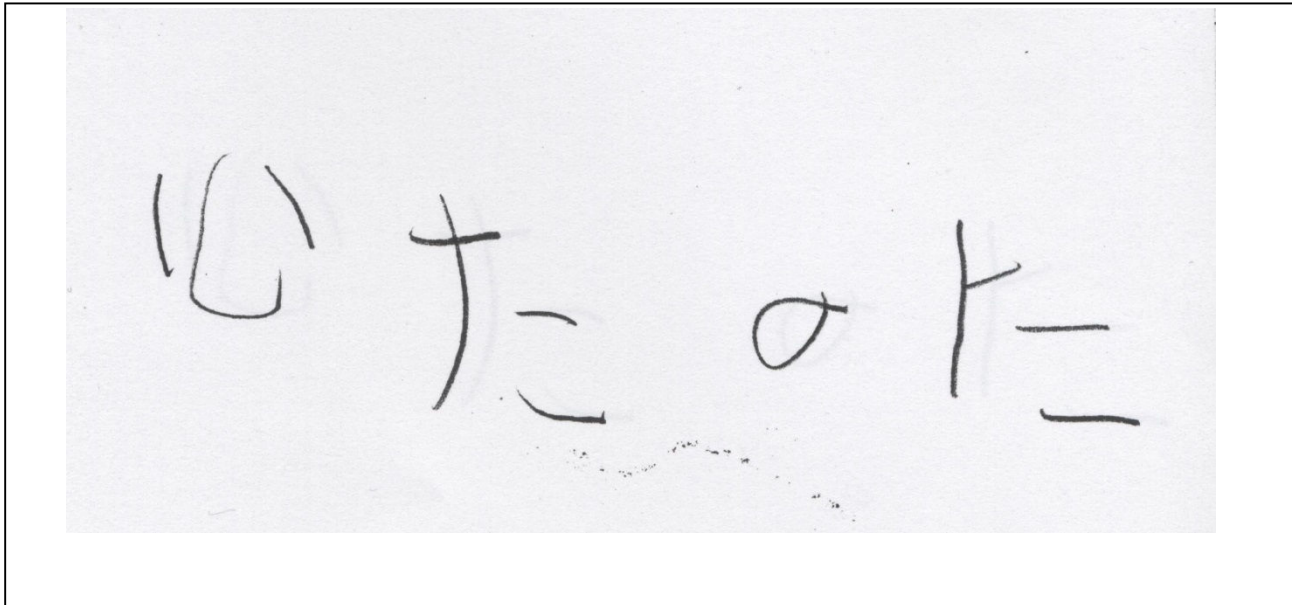
3~4才で進展



② 対応規則の理解 : 表記の規則の習得

4才台でも不完全

表現規則の理解 ◆ 擬似文字例



●文字習得の進みにより促されるもの

■音韻意識

■形態認識・描線力

■記号的認識

■思考の高度化

文字能力の評価

●文字習得状況の評価

■読み書き能力検査

●情報収集(習得状況・関心・嗜好など)

● 基礎認知能力の評価

- 音韻認識の評価
- 文字形態弁別能力の評価
- 記憶能力の評価
- 構音状況の評価
- 語彙能力の評価
- 数概念の評価

■ 音韻認識の評価

- ◆ 音韻弁別
- ◆ 音(モーラ)の分解
- ◆ 音(モーラ)の抽出
- ◆ 音の混成
- ◆ 音の消去

◆音韻弁別

●復唱課題

単音 / 単語 / 文章

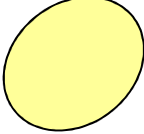
●弁別課題

* 語音の聞き取り

- ・「あ」っていったら手をあげて
- ・「はっぱ」かな「らっぱ」かな

◆音の分解(モーラの分解)

*モーラ数を把握する

 3拍

ta ma go

- ・手を叩く(打拍)
- ・おはじきを置く

易
拍数 少ない



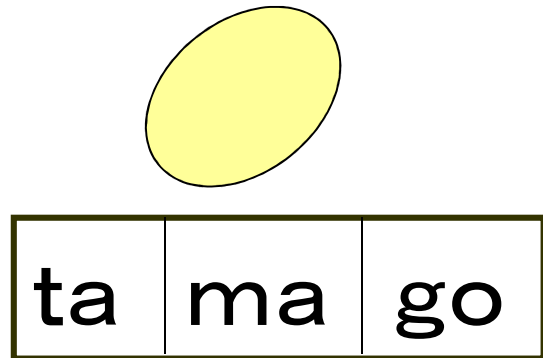
難
拍数 多い

- * 特殊拍の入るもの
- * 語中に母音の入るもの

とんぼ／かえる／のーと
らっぱ／ちやわん／りょうり
ちよつき／きゅうかんちょう

◆音の抽出(モーラの抽出)

* モーラ的位置を把握する



「ta」は、どこ？
「ma」は、どこ？
「go」は、どこ？

◎ 語頭音の抽出能力が、かな文字学習に重要

* アイスの「あ」

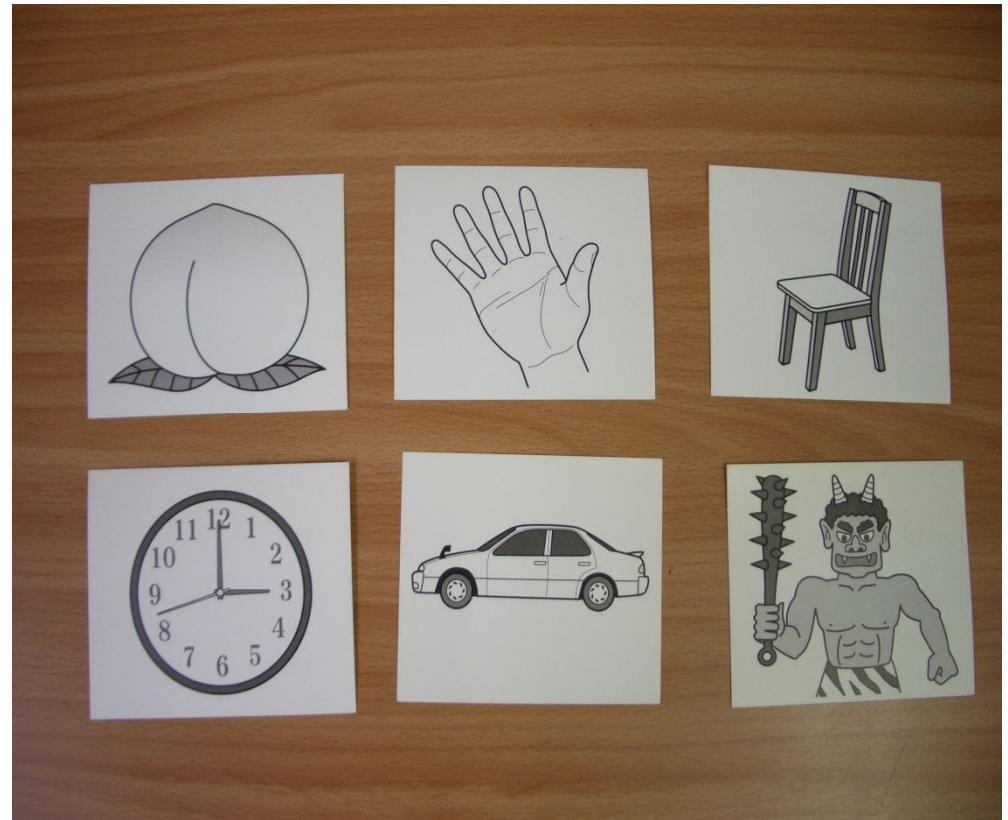
● 語頭音の選択課題

「く」のつくの、どれ？

「く ・ ・」 どれ？

「 ・ ・ ま」 どれ？

「く る ・」 どれ？



◆音の混成

「た……ま……ご。なあんだ？」



「たまご！」

◎単語読解の可否に重要：遂字読みの統合

◆音の消去

「ごんべさんの赤ちゃん」

*「た」ぬきで、歌う

ごんべさんのあかちゃんがかぜひいた

■文字形態弁別能力の評価

◆同字判断

か か か か か

◆異同弁別

* 形態の差 大 → 形態の差 小

かーと つーむ / ねーれ ぬーめ

* 特殊表記の記号認識

さーざ ばーば ひやーひゃ

■ 記憶能力の評価

◆ 視覚情報の把持

- * 図形の記銘 (ITPA「図形の記憶」課題など)

◆ 聴覚情報の把持

- * 数唱 / AMS / ARS / 単語復唱

◆ ワーキングメモリー

- * 同時処理課題 ウェクスラー式知能検査 など

■ 構音状況の評価

- * まず清音に対応する音が獲得されているか。
- * 5母音は、明瞭か。

■ 語彙能力の評価

- * 習得語彙の広さと深さ
- * 語頭音となる単語は習得されているか

■ 数概念の評価

- * 3までの量概念は成立しているか

文字学習の目的

発達障害児における文字学習の意義

- 記号概念の習得
- 音声言語能力の向上
- 学習課題の拡大
- 伝達手段の獲得 etc

《文字学習に困難を来たすケース》

◇発達障害（能力全般の未熟さ）

◇学習障害（問題の要素性が強い）

◇第2外国語習得

【発達障害児における文字学習の特徴】

★障害の状況に応じた目標設定が必要

シンボルレベル

→ wordレベル

→ 1文字レベル

→ 単語～文レベル

* 理解できる／読める／書ける／指せる／打てる

文字学習の具体的方法

● 文字レディネスの育成

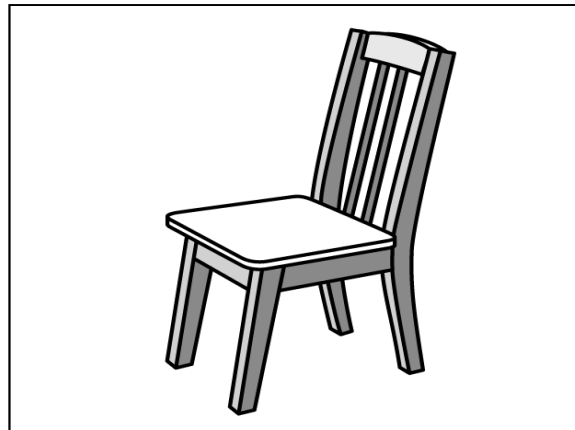
● 文字レディネスの育成

- 記号概念の形成
- 音韻認識の形成
- 形態弁別能力の育成
- 語彙の学習
- 構音の習得
- 注意・探索能力の育成
- 記憶能力
- ワーキングメモリー
- 数の学習

■ 記号概念の形成

* 絵カードの理解

→ 概念を象徴／語意味の抽象化



■ 音韻認識の形成

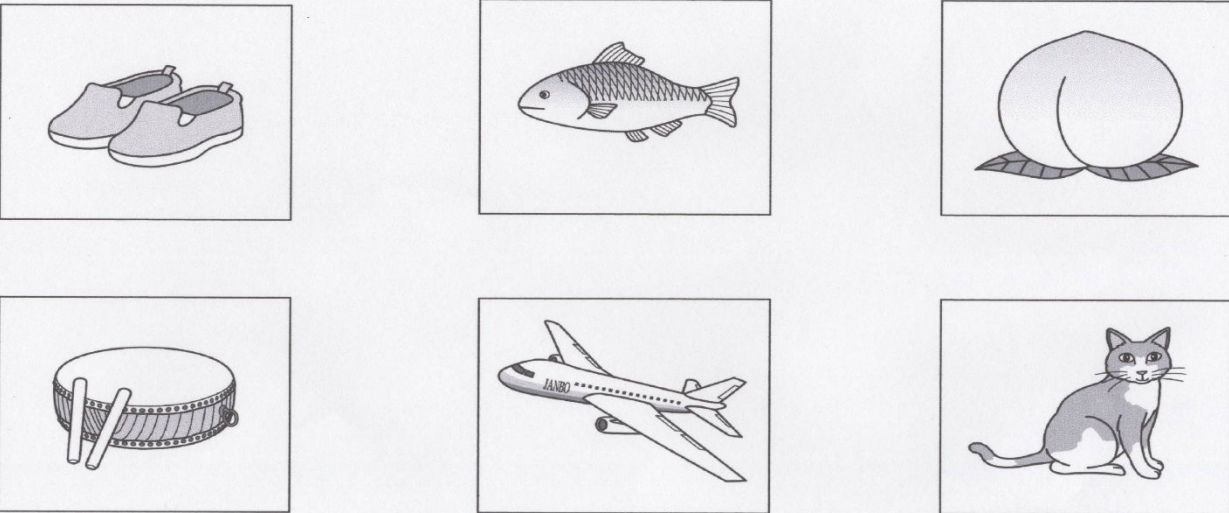
- * 音の弁別
- * モーラの分解
- * モーラの抽出

■ 音韻認識の練習 語頭音の認識

学習例

語頭音の認識練習

『～』のつく ことばは どれかな？



※それぞれのことばの、初めの音だけを聞いて、ことばをあてる練習です。

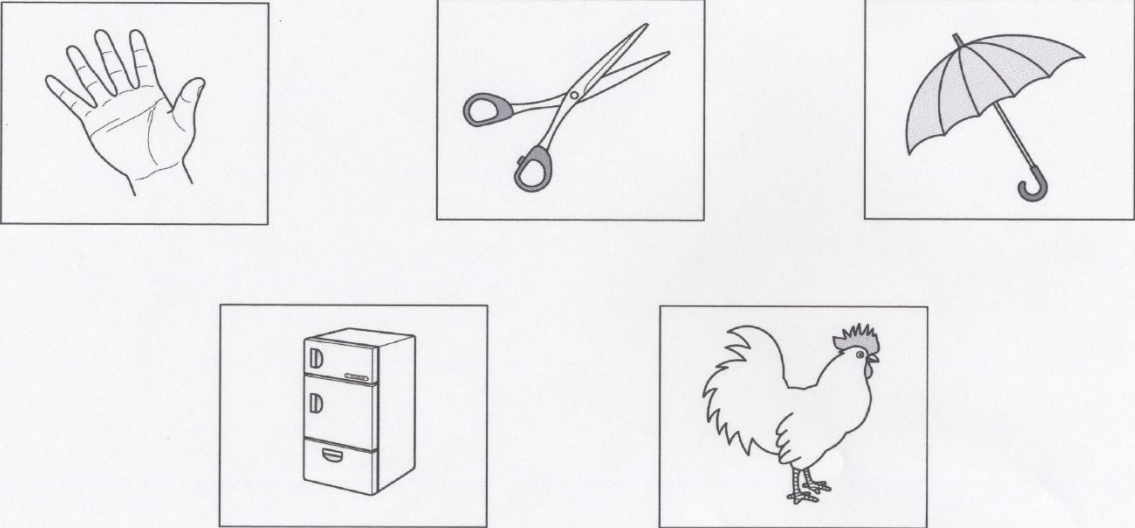
製作教材「ひらがな学習カード：清音編」収録

■音韻認識の練習 拍(モーラ)の認識

学習例

拍数の認識練習

音は いくつかな？



※それぞれのことばの、拍数（手拍子・ハミングなど）を聞いて、ことばをあてる練習です。

製作教材「ひらがな学習カード：清音編」収録


■音韻認識の練習

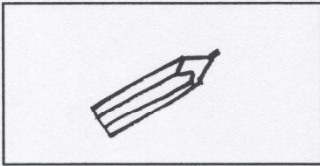
音の抽出

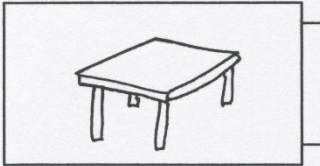
学習例


(月 日)

| | |
|---|-----------|
| え | は、どこかな？ 2 |
|---|-----------|

| | |
|--|--|
|  | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> |
|--|--|

| | |
|--|---|
|  | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> |
|--|---|

| | |
|---|--|
|  | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> |
|---|--|

| | |
|--|--|
|  | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> |
|--|--|

■ 形態弁別能力の育成

- * 文字マッチング
- * 重なり文字の判別

* 文字マッチング

おなじ字をせんでむすぼう5

あ

と

し

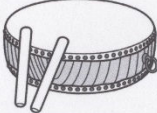


し

あ

と

* 文字マッチング

カットワーク: 3択マッチング

| | | |
|---|---|---|
|  |  |  |
| たいこ | パン | ひこうき |

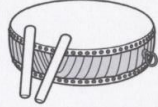


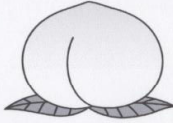

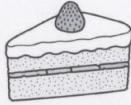
| | | |
|------|-----|----|
| ひこうき | たいこ | パン |
|------|-----|----|

A red arrow points from the word "ひこうき" in the top row to the word "ひこうき" in the bottom row. A dashed purple line with a scissors icon on the left indicates a cut line between the two rows.

製作教材「ひらがな学習カード: 清音編」収録

* 文字マッチング


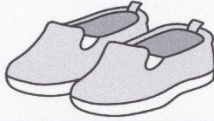


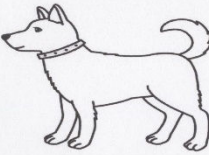

カットワーク: 6択マッチング

| | | |
|---|---|---|
|  |  |  |
| たいこ | ぱん | ひこうき |
|  |  |  |
| もも | こっぷ | けーき |
| たいこ | ぱん | ひこうき |
| もも | こっぷ | けーき |

Scissors icon on the left side of the bottom row, with a red arrow pointing to the top-left card.

* 文字マッチング

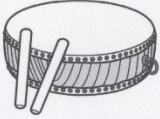


カットワーク: 形態類似単語

| | | | |
|---|---|---|--|
|  |  |  | |
| くち | くつ | くも | |
|  |  |  | |
| いす | いぬ | いか | |
| ✂ | <hr/> | | |
| くち | くつ | くも | |
| いす | いぬ | いか | |

A red arrow points from the 'くも' card in the second row to the 'くも' card in the third row. A green box highlights the 'くも' card in the third row. A dashed pink line is positioned between the second and third rows.

* 文字マッチング

カットワーク: 対応づけ

| | | |
|---|---|---|
|  |  |  |
| たいこ | パン | ひこうき |
| | | |
| ✂ ひこうき | たいこ | パン |

製作教材「ひらがな学習カード: 清音編」収録

* 重なり文字の判別

焼

①

②

③

■ 語彙の学習

- * キーワードで使用する単語の習得
⇒「あ」～「わ」を語頭音とする語
- * 語彙の拡大
広さと深さ ⇒ 抽象的概念の育成

■ 構音の習得


* 単音～単語レベルでの構音の完成









































■ 注意・探索能力の育成

- * 目標刺激への
フォーカスのトレーニング

■ 注意・探索能力の育成 絵・記号の探索

どこにありますか？ (月 日)




| | | | | |
|---|--|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |


■ 注意・探索能力の育成

文字の探索

どこにありますか？ (月 日)

こ  みっけよう
こっぴ

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| け | か | り | こ | さ |
| さ | り | け | に | か |
| に | こ | か | さ | り |
| さ | に | り | こ | か |
| り | か | さ | こ | に |
| け | こ | に | か | け |

 ぜんぶで ()

■ 記憶能力

* 聴覚的把持

* 視覚的把持の練習

■ワーキングメモリー

複数の刺激を同時に処理する能力を作る



文字を覚える

=たくさんのページを開きながら、ひとつの結果を出す作業

■ワーキングメモリー

* 見本あわせ課題：文字を素材として

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| た | ち | つ | て | と |
| ● | ● | ● | ● | ● |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| て | つ | た | と | ち | た | つ | ち | て | と |
| ● | ● | ● | | | | | | | |

■数の学習

- * 量概念の形成(継時的・空間的)

「トン トン トン」



3つ の意識

- * 数字の理解

文字レディネスの学習



さまざまなトレーニングを、
文字学習と平行して実施

●有縁記号の学習

■マーク・絵記号の学習

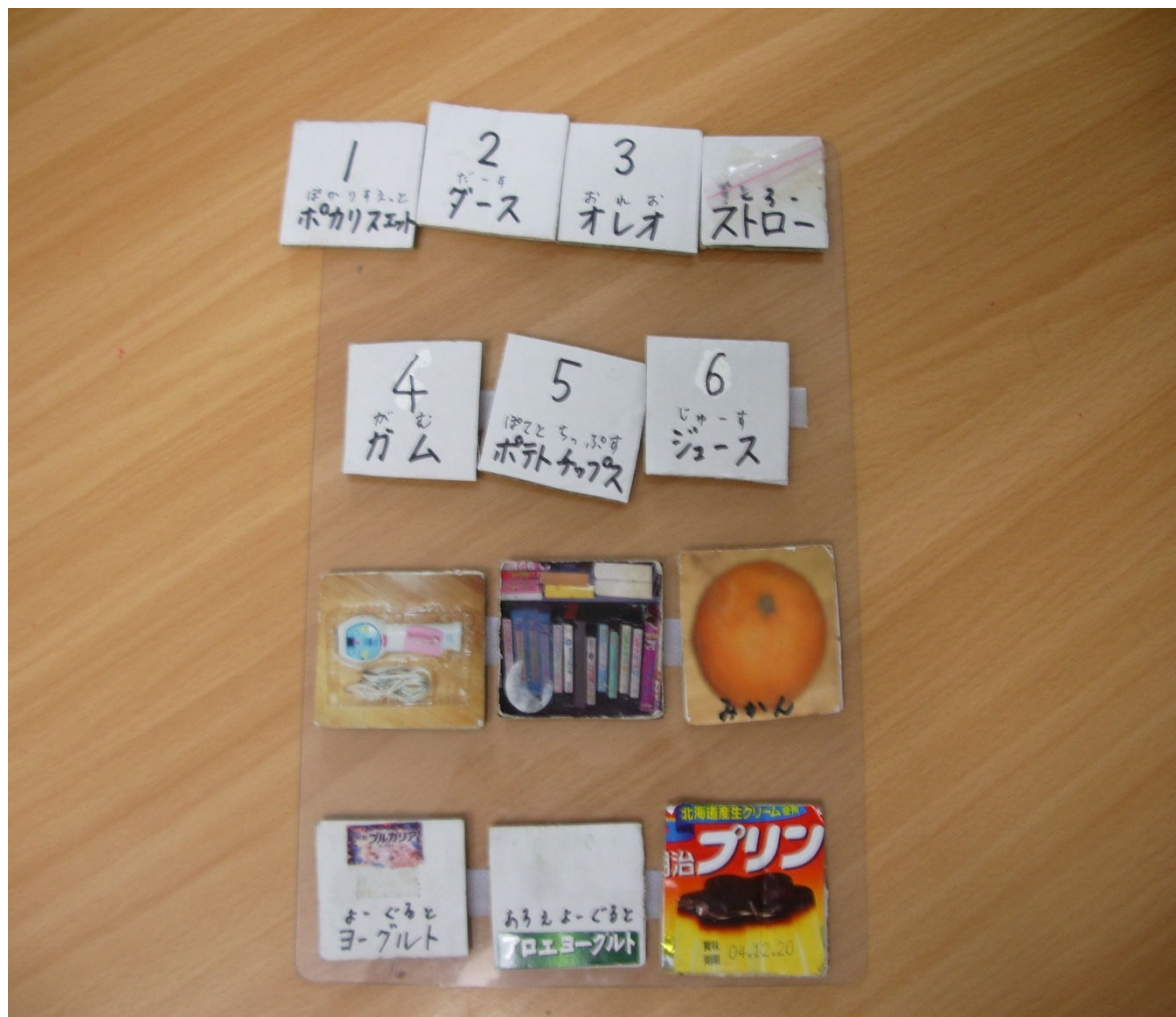
■漢字の学習

■ マーク・絵記号の学習

* 関心のあるロゴや標識などを素材とする



■ マーク・絵記号の学習 日常運用例



■ 漢字の学習

* 図像性の高い単語から学習

山 雨 口 川

● ひらがなの学習
～読みの習得～

● ひらがなの学習 **学習の段階**

Word 単位での学習 : 文字単語と意味内容の対応づけ



ひらがな1文字の学習 : 清音 ⇒ 濁・半濁音



ひらがな単語の音読・読解 : 清音・濁音の2~3文字単語



ひらがな特殊表記の学習 : 拗音 / 促音 / 長音 / 拗長音
助詞「を」「は」「へ」

● ひらがなの学習

Word 単位での学習

文字単語と意味内容の対応づけ

- 目的**
- ① ひらがな学習の導入として
 - ② 限定されたコミュニケーション手段として
 - ③ 聴覚入力に比較して、視覚的入力が優位

- 開始条件**
- ① 文字単語の形態弁別が可能
 - ② 学習する単語の意味理解が必要

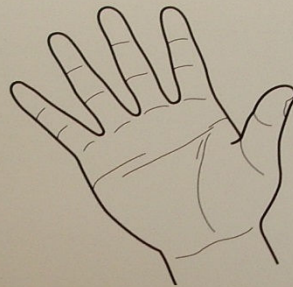
- 方法** 多種の文字ひらがな漢字カタカナを素材とする
⇒ 弁別・対応づけをしやすくするため

Word 単位での学習

学習例



かさ



て



おに

● ひらがなの学習

Word 単位での学習

※ 二重規則への拘泥に注意

⇒ 単語の選定が必要

* このレベルまでを、達成目標とする場合もあり

● ひらがなの学習

かな1文字の学習

清音の学習

清音1文字学習 開始にあたって

* 1文字単位での文字形態弁別能力

* 1音節単位での音韻弁別能力

* 語頭音の音韻抽出能力

* 文字への興味・関心

* 単語レベル以上の言語理解力

* マッチング課題の理解・遂行能力

以上のような能力があること、が望ましい

● ひらがなの学習

清音1文字の学習方法

- 50音表マトリクス法
- キーワード法
- 1文字単語法
- 多感覚法
- 音声法
- 連想法

制作教材例 「ひらがな学習カード：清音編」

- 構成)
- 音韻認識練習
 - 文字マッチング練習
 - 文字単語カード
 - 各行マッチング練習
 - 各行カード
 - 50音表
 - 1文字カード
 - 文字配列枠
 - 予備カード

●文字単語カード (■キーワード法)

文字単語を用いた

1音 - 1文字対応の抽出学習

■ キーワード法 学習方法

① 文字単語と絵カード
(音声＋意味内容)のマッチング



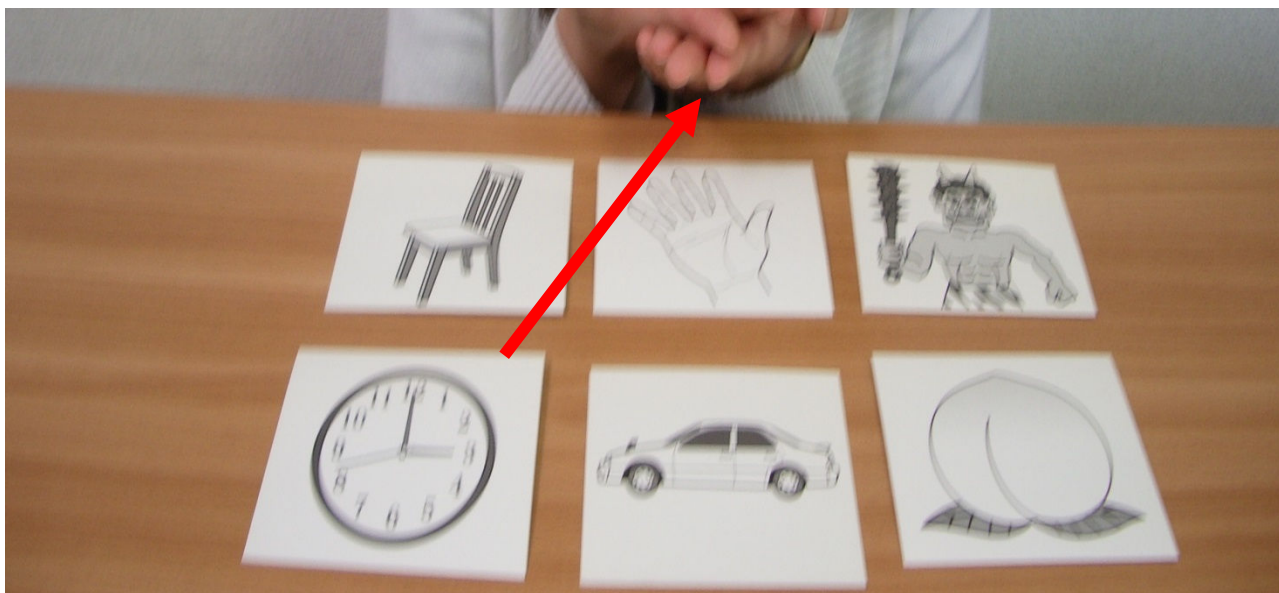
② 単語の語頭音と文字列の先頭
文字の対応づけ(音・文字の抽出)



③ 語中・語尾の音ー文字の対応
づけ

準備：キーワード語頭音の把握を確認

「と・〇・〇(無音)」
どれ？

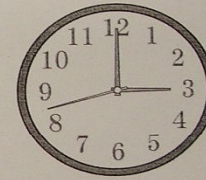


準備：キーワード単語の形態把握を確認



カードの表面と裏面

とけい



とけい

文字単語と事物名称の連合

「とけい」は、これ。

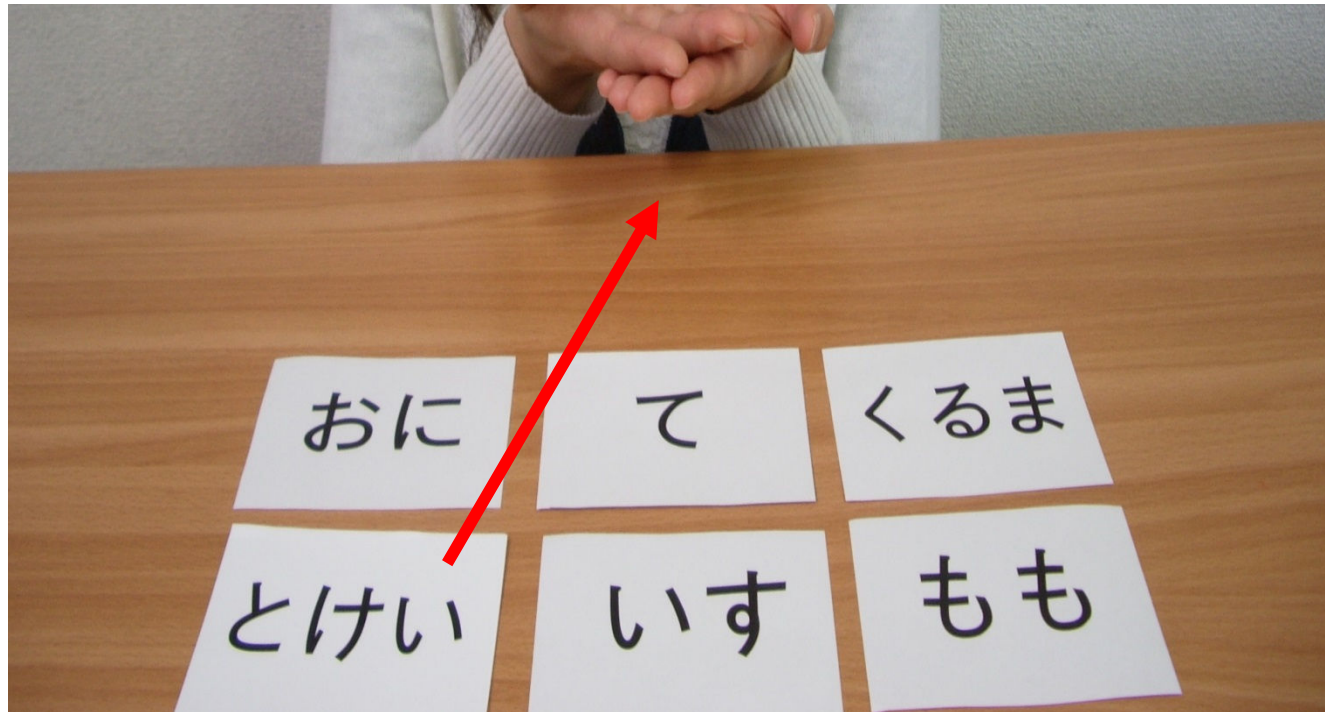


小文字との対応



文字単語と事物名称との対応

「とけい」
ちょうだい！

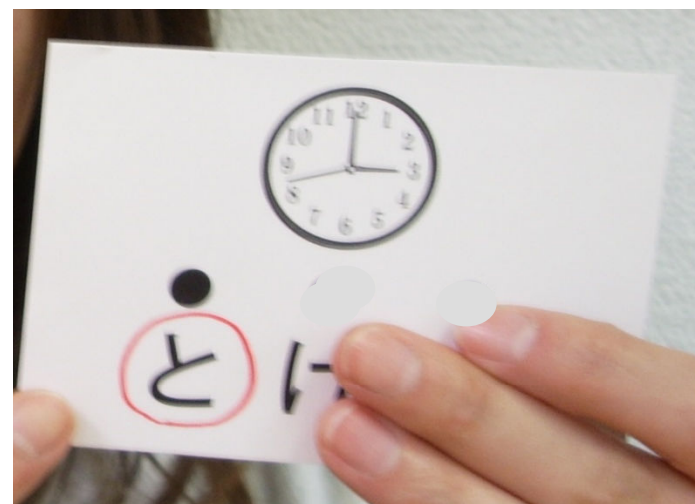


文字単語の呼称

これ、
なに？

とけい

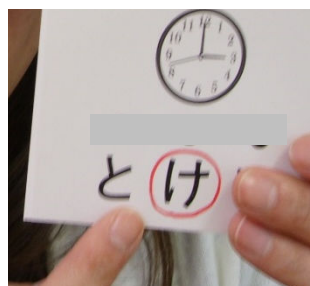
語頭音の抽出と語頭文字の対応



語中・語尾文字と音との対応

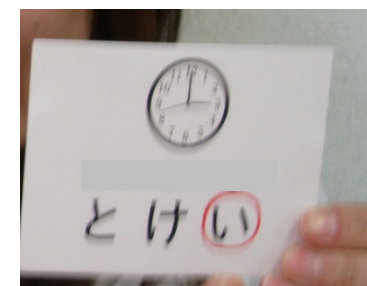
「とけい」

の、「け」。



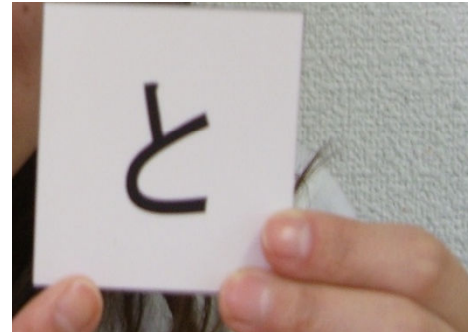
「とけい」

の、「い」。



1文字カードでの呼称

これ、
なに？



■ キーワード法

適応

- * キーワードの理解が必要
- * 語頭音の抽出能力が必要
- * 語頭音の構音産生が可能なことが望ましい

◎ wordレベル学習からの進展が可能

× 音韻認識に未熟さが強い場合は難しい

■ 1文字単語法

1文字単語のキーワードと音との対応学習

■ 1文字単語法

学習例



カード表面



カード裏面

■ 1文字単語法

適応

- * キーワードの理解が、必要
- * **目標文字**の構音産生が可能なことが望ましい

◎ 初期導入として有効

△ 単語呼称段階に留まっていることあり


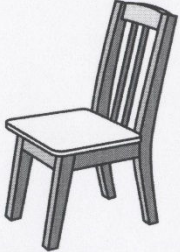
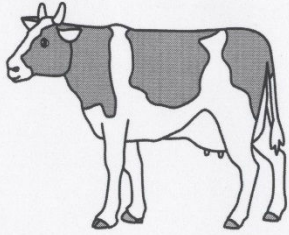
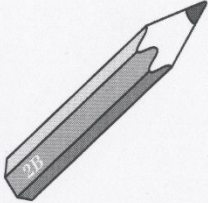

■ 各行法

50音各行の系列唱と

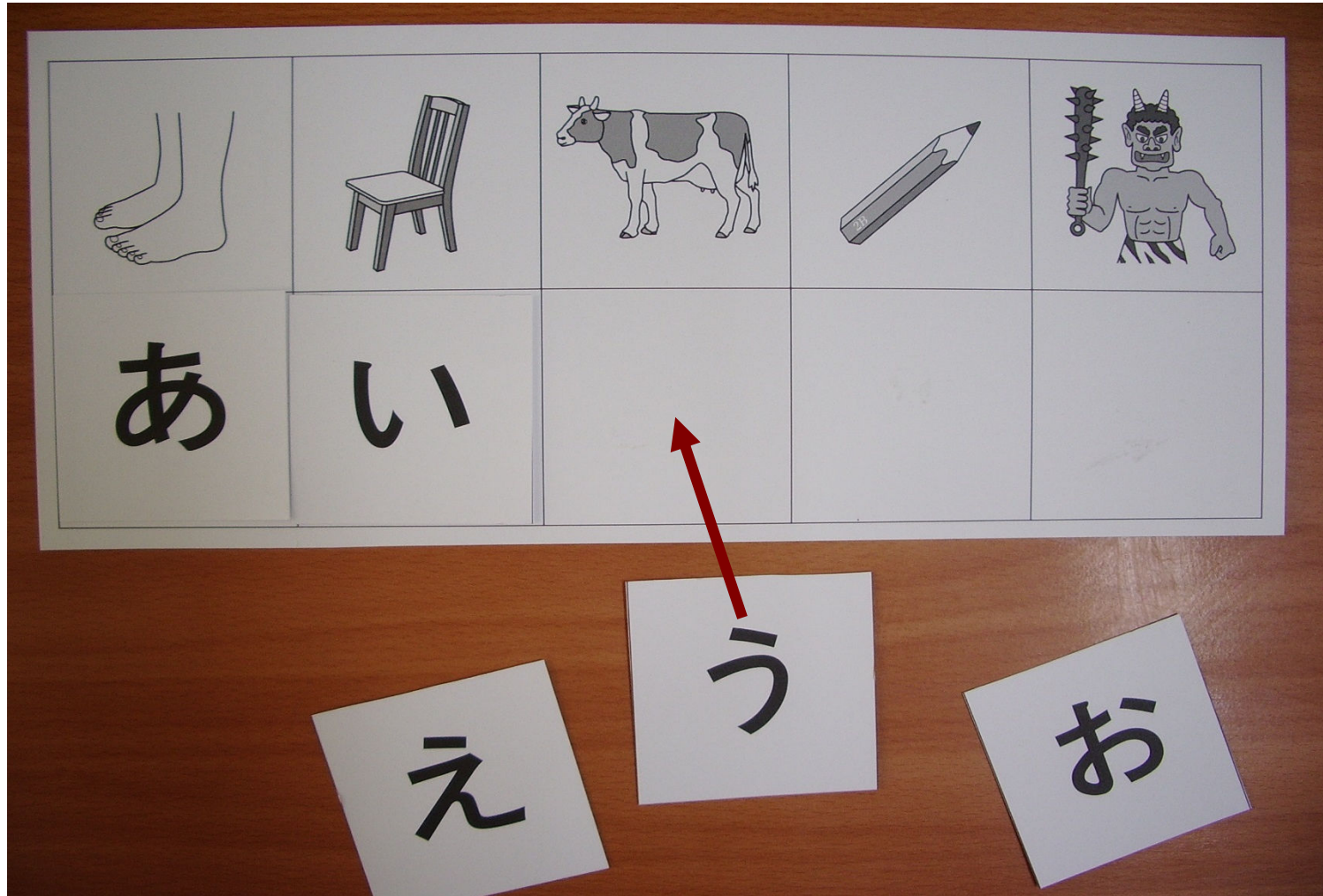
キーワードを組み合わせた学習

■ 各行法

教材例 各行マッチング

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| | | | | |
| ↑ | ↑ | ↑ | ↑ | ↑ |
| あ | い | う | え | お |

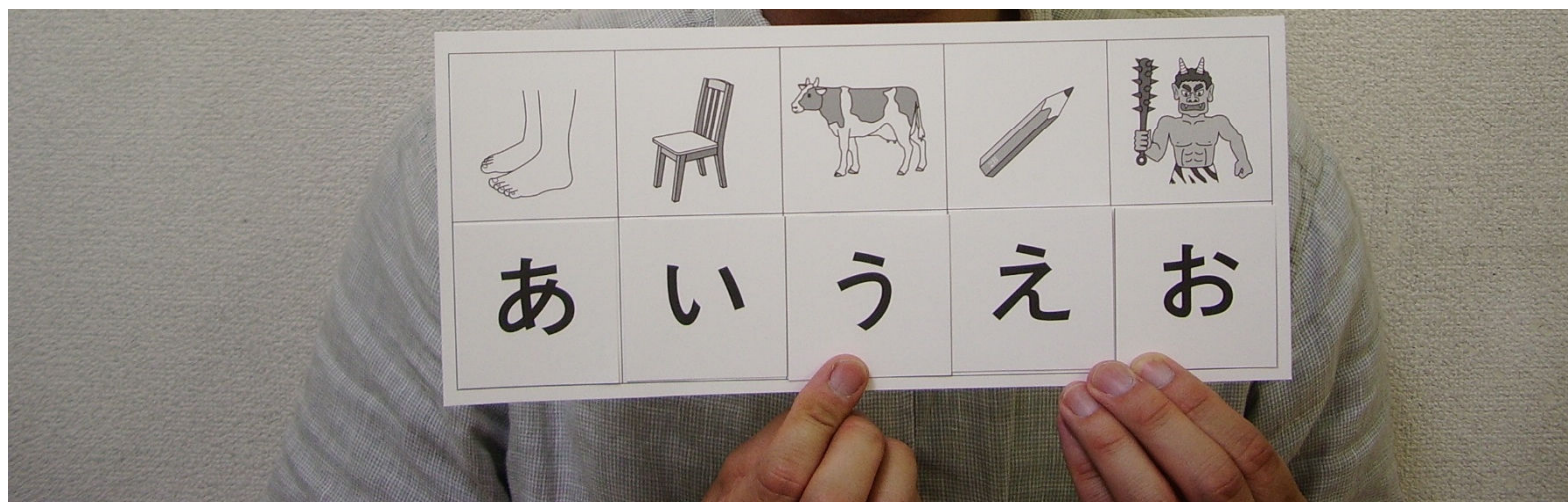
キーワード+行系列での文字の配置



あ行系列唱とキーワード対応

「うし」
の「う」

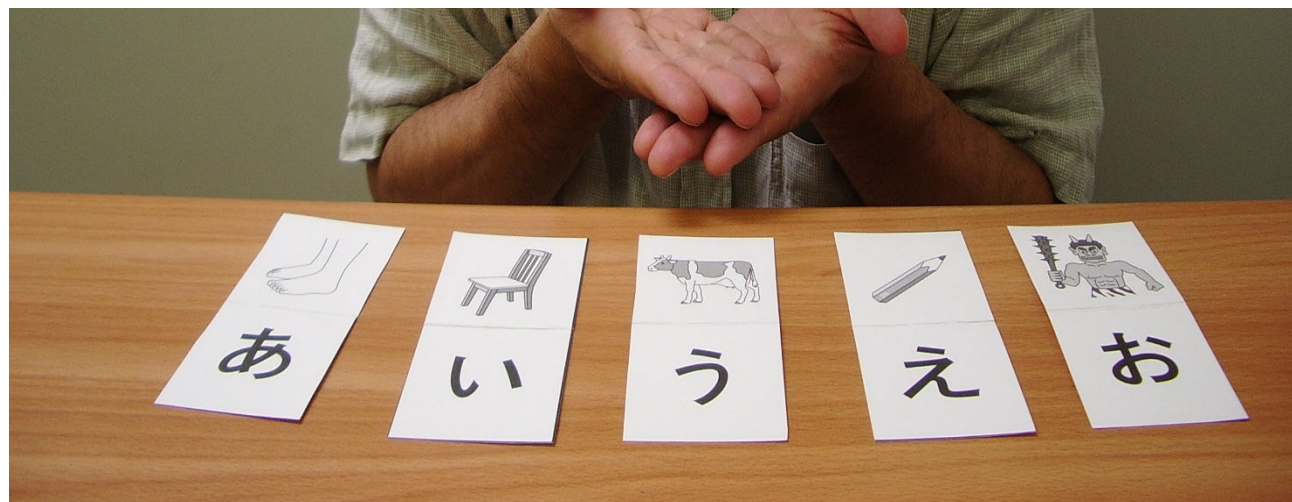
「あいうえお」
の「う」



文字の選択 絵+1文字カード使用

「う・〇(無音)」
どれ？

「あいうえお」
の「う」

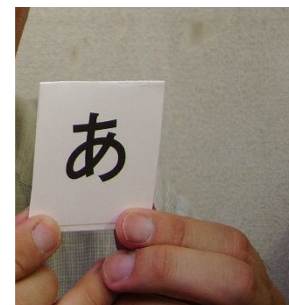
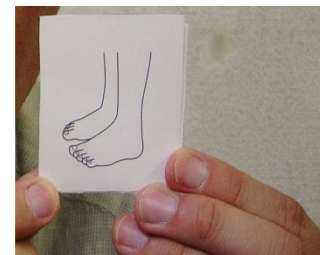
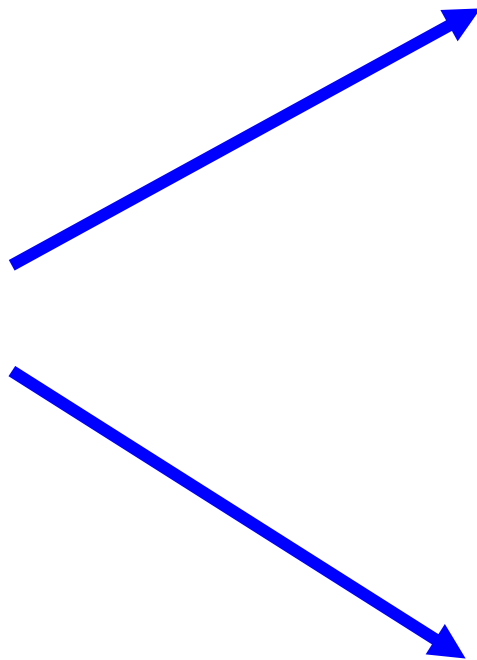


文字の呼称(音読)

これ、
なに？

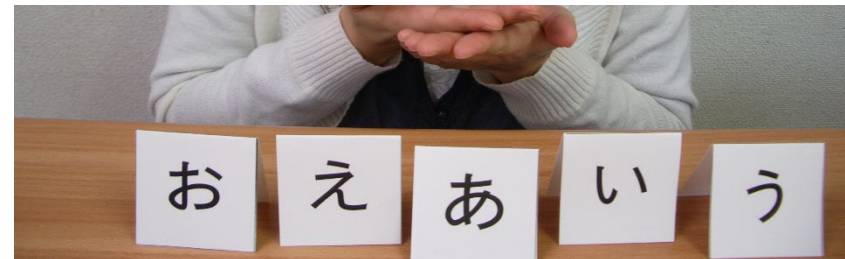
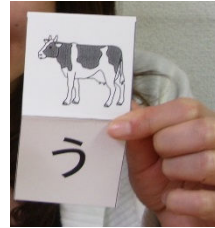


文字と絵(キーワード)の確認



文字の選択

「うし」の「う」
どれ？



■ 各行法

適応

- * キーワードの理解が、ある程度必要
- * **語頭音**の抽出能力が、ある程度必要
- * **語頭音**の構音産生が可能なことが望ましい

◎ 系列への嗜好(志向)を利用

■ 50音表マトリクス法

50音表の系列唱を用いての学習

■ 50音表

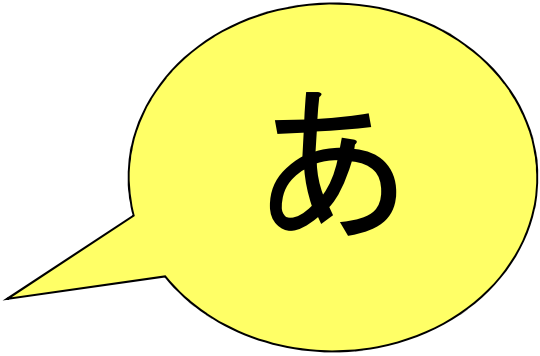
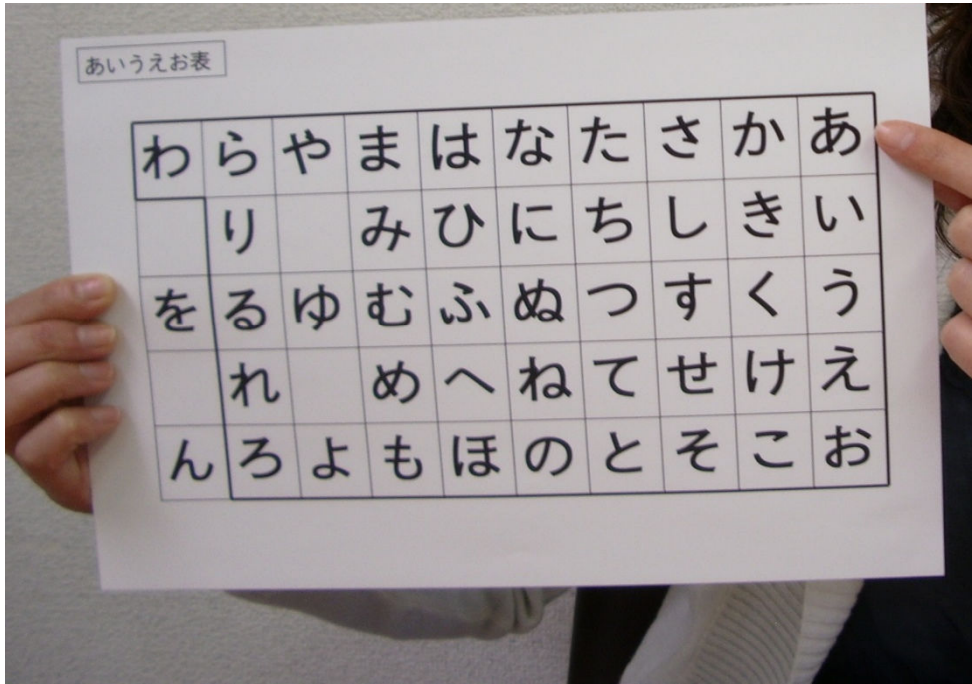
あいうえお表

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| わ | ら | や | ま | は | な | た | さ | か | あ |
| | り | | み | ひ | に | ち | し | き | い |
| を | る | ゆ | む | ふ | ぬ | つ | す | く | う |
| | れ | | め | へ | ね | て | せ | け | え |
| ん | ろ | よ | も | ほ | の | と | そ | こ | お |

マトリクス「に」探索

あいうえお表

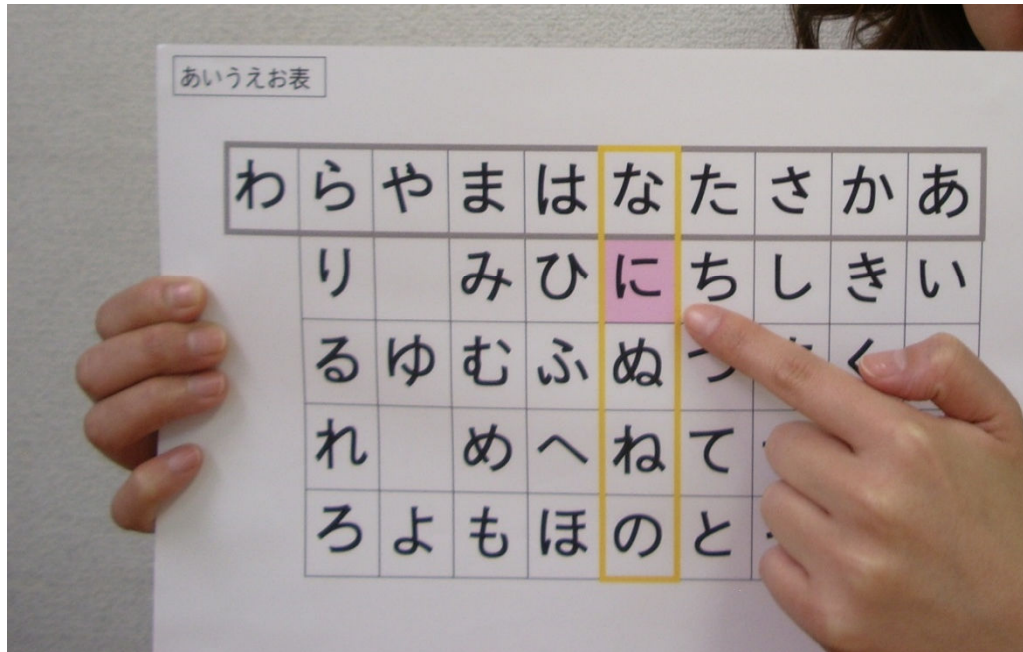
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| わ | ら | や | ま | は | な | た | さ | か | あ |
| り | | み | ひ | に | ち | し | き | い | |
| る | ゆ | む | ふ | ぬ | つ | す | く | う | |
| れ | | め | へ | ね | て | せ | け | え | |
| ろ | よ | も | ほ | の | と | そ | こ | お | |



あかきたな

...

なに...に



■ 50音表マトリクス法

適応

- * 50音表の系列唱がある程度、可能
- * 音の抽出能力の成熟が必要

◎ 効率的・迅速な学習が可能

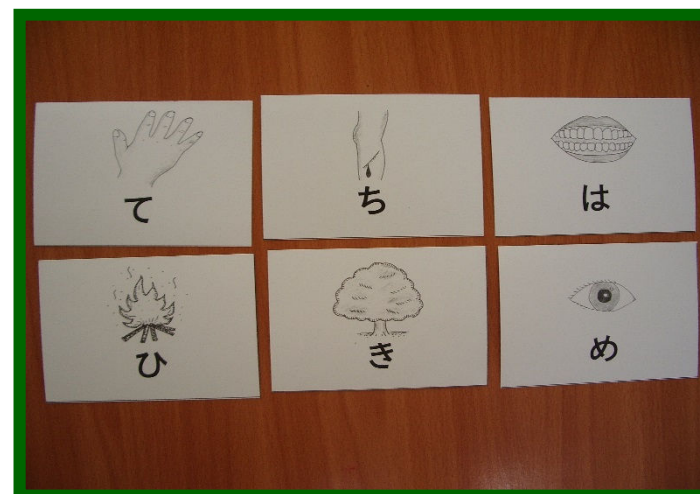
× 能力に未熟さが強い場合は概ね、困難

⇒ かな文字習得がある程度進んだ段階から効力

50音表／キーワード法／各行法 ／1文字単語法の同時学習

あいうえお表

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| わ | ら | や | ま | は | な | た | さ | か | あ |
| | り | | み | ひ | に | ち | し | き | い |
| を | る | ゆ | む | ふ | ぬ | つ | す | く | う |
| | れ | | め | へ | ね | て | せ | け | え |
| ん | ろ | よ | も | ほ | の | と | そ | こ | お |

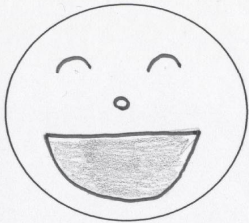
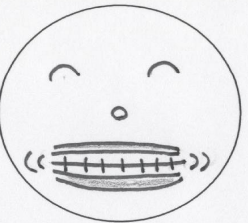
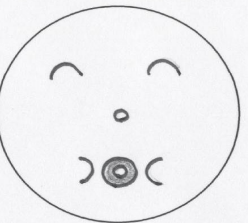
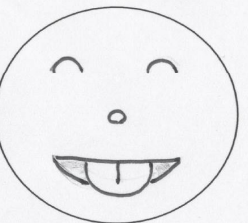
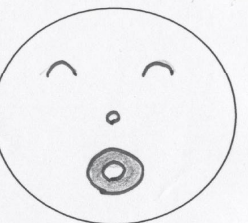







■ 音声法

文字と音声情報（音韻／口形など）の連合

※ 音声習得のための媒介として
文字を利用する場合もあり

■ 音声法 顔イラストと文字の対応

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
| | | | | |
|  |  |  |  |  |
| あ | い | う | え | お |

■ 多感覚法

運動覚・触覚など多種の感覚モダリティを用いた学習

* なぞりがき

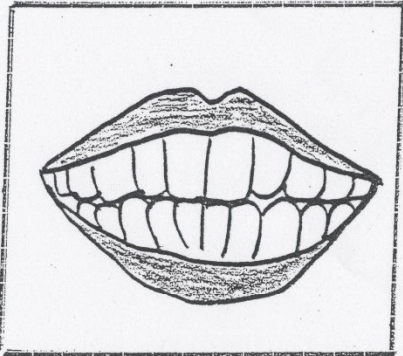
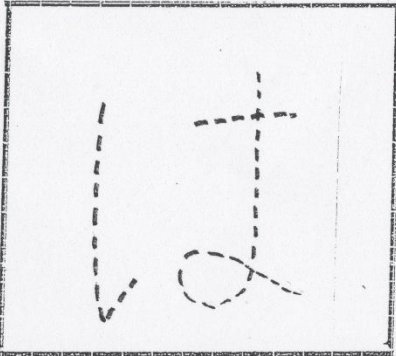
* 粘土文字

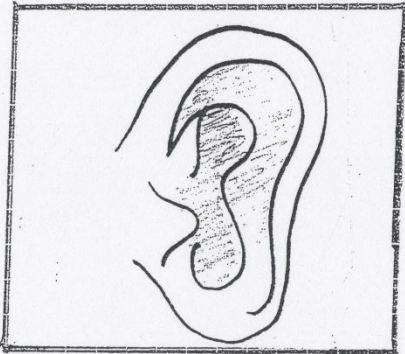
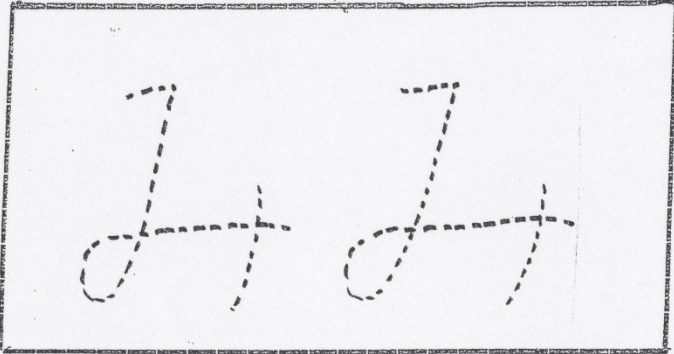
* 身体運動による文字

■ 多感覚法

なぞりがき

もじ ひらがな なぞり 月 日

①  


②  

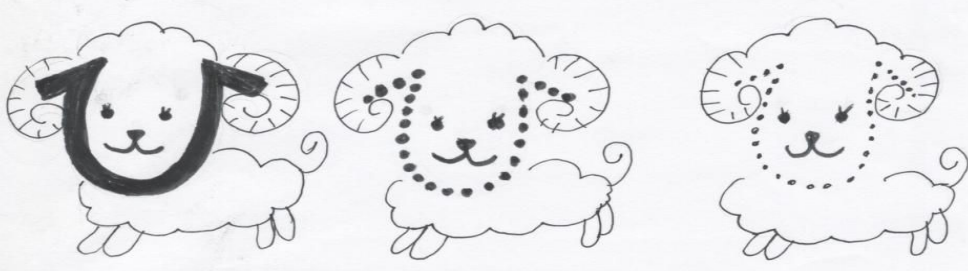
■ 連想法


意味的関連づけによる学習

★ 学習例

ひらがな れんしゅう ② が 月 日







濁音・半濁音・特殊表記の学習

濁音・半濁音・特殊表記の学習

* 清音習得と異なる特色

- 音素文字的特徴の理解
- 文字のユニット認識
- 統語の認識
- 語彙知識が重要

濁音・半濁音・特殊表記の学習：★清音習得と異なる特色

■音素文字的特徴の理解

1音節 = 1文字非対応

⇔ 音節文字（例；あいうえお）

◇音声学的性質への認識

◇法則的な文字使用への理解

濁音・半濁音・特殊表記の学習：★清音習得と異なる特色

■文字のユニット認識

補助符号(濁・半濁点)

小書き文字(促音「っ」、拗音「ゃゅょ」) ex)

ちやわん / はっば

濁音・半濁音・特殊表記の学習：★清音習得と異なる特色

■ 統語の認識

助詞「は」「へ」「を」の運用

濁音・半濁音・特殊表記の学習：★清音習得と異なる特色

■ 語彙知識が重要

例) 長音 そうじき

so u d3i ki ...

あ、「そーじき」だ。こう書くのか...

濁音・半濁音・特殊表記の学習:

共通する学習

- ◆文字への気づき
- ◆音声学的性質への気づき
- ◆文字のユニット認識
- ◆書字学習との並行

濁音・半濁音の学習

■ 濁音表

■ キーワード法

■ 対比法

■ 有声子音 ↔ 無声子音

ka-ga / sa-dza


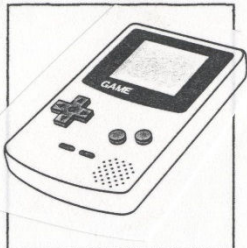
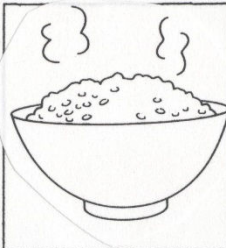

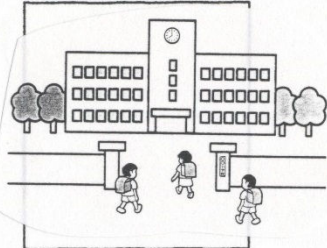
ta-da / ha-ba-pa

* 濁音・半濁音の習得



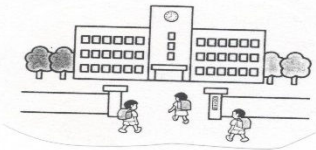

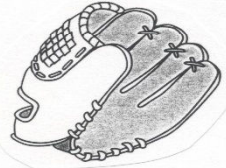


同類音としての認識が重要

■ キーワード法：語頭音単語との連合

| | | | | |
|---|---|--|---|---|
|  |  |  |  |  |
| ぐろーぶ | ぎたー | げーむ | がっこう | ごはん |

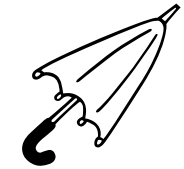
■ キーワード法：書字学習との平行

がきくげご

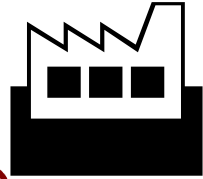
| | |
|--|-------|
|  | ○ っこう |
|  | ○ たー |
|  | ○ ろーぶ |
|  | ○ ーむ |
|  | ○ はん |

■ 対比法

か — が

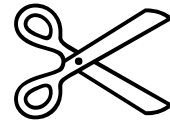


かさ



がっこう

は — ば — ぱ



はさみ



はす



ぱん

■ 対比法

か — が

き — き

く — く

け — げ

こ — こ

は — ば

ひ — び

ふ — ぶ

へ — へ

ほ — ほ

特殊表記の学習

- * 単語読みがある程度進んだ時点で開始
→ 複数文字や小書き文字の **ユニット認識** が必要
ex) ちゃわん / はっぱ
- * 音韻意識の形成・構音産生が重要
モーラ(拍)の認識
- * 学習順序の問題

特殊表記の学習

小書き文字とのユニット認識

動作・記号キューによる把握

- ◆ 促音の学習：音声停止（呼気閉鎖）の性質
の把握・産生
- ◆ 拗音の学習：子音－半母音合成の性質の
把握・産生
- ◆ 長音の学習：お列長音→「う」、え列→「い」
表記の習得 * 語彙理解が重要
- ◆ 撥音の学習：

<学習の手法>

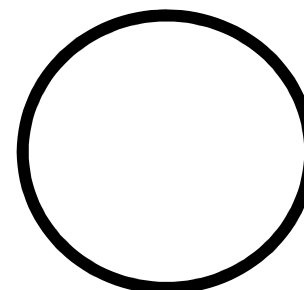
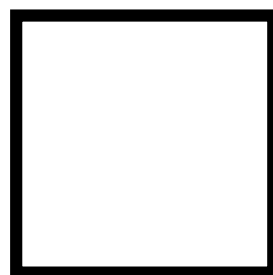
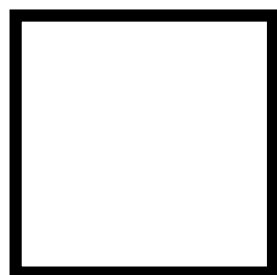
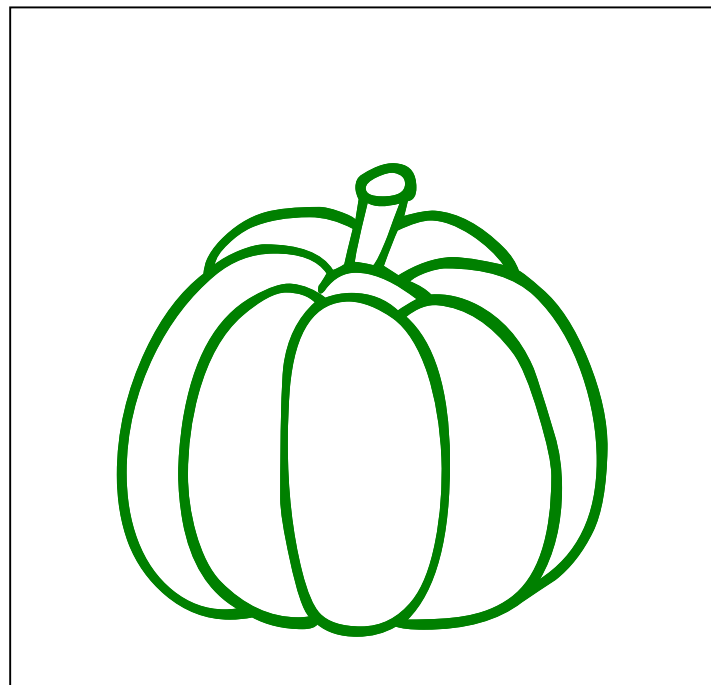
○体系的プログラムとして

天野らによる「学習障害児に対する言語・認知発達教育プログラム」(1995)

* 図形などを用いた特殊音節の自覚形成
(各特殊表記のモデル構成)

音韻認識(抽出・同定) → 表記の学習

特殊表記の
モデル構成



文字ユニットの探索

「きゃ」をさがそう

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| きゃ | つ | た | きゃ | や | ま | る |
| ちゅ | み | と | よ | にゃ | きゃ | りゃ |
| お | きゃ | きゃ | ん | きゃ | ぱ | あ |
| な | ひよ | きゃ | ら | わ | い | きゃ |
| きゃ | ち | も | きゃ | に | きゃ | こ |
| きゃ | ば | て | う | きゃ | え | きゃ |

よんで みよう!

- きゃべつ
- きゃんぷ
- きゃらめる

- おきゃく
- へんきゃく
- さんきゃく

拗音の学習

■ 拗音表

■ キーワード法

■ 系列法

■ 子音+半母音

ki + ya → kja

si + yo → sjo

* 同類音としての認識が重要

① 拗音 きゃ・しゅ・によ

② 子音 ちゃ・ちゅ・ちよ

拗音の学習：単語中での探索

「きょ」はどこかな？ A

みつけて□で、かこもう

きょ うりゅう おにぎり

さかみち とうきょう

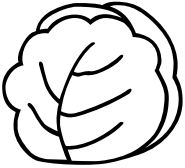
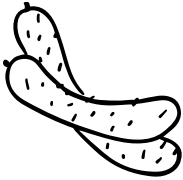
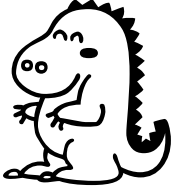
らっきょう けんきゅう

きねんきって きょうしつ

まんげきょう きょうだい

ぜんぶで()

■ 対比法

| | |
|----|--|
| きや |  |
| きゆ |  |
| きよ |  |

きや—しゃ—ちや

促音の学習

■ 呼気停止(1拍の間)

ki Q te

ko Q pu

* 同類音としての認識

■ 表記からの気づき

どこがへんかな？

きて こぶ ろけと

■ フットによる練習

おも しろ かつ た

なつ やす み

* 2拍をひとまとまりで言う(読む)

長音の学習

おかあさん

きいろ

くうき

せいと

え列 → 「い」表記

そうじ

お列 → 「う」表記

カード

ケーキ



カタカナ表記の長音記号の理解

■ 音声持続(1拍の伸ばし)

so : da

ke : to

漢語の語彙知識の必要

表記規則の理解

どこがへんかな？

カド サッカ ケキ

単語の音読解

※一定数の清音習得後に開始

* 拾い読み → 単語読み
文字—音変換の高速化
音の混成能力が重要

「た…ぬ…き…、あ、たぬき だ！」

* 縦書き・横書きの表記規則の理解

単語の音読解

○ 読字可能な文字で構成された
単語読解を進める

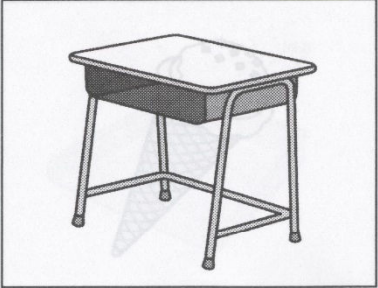
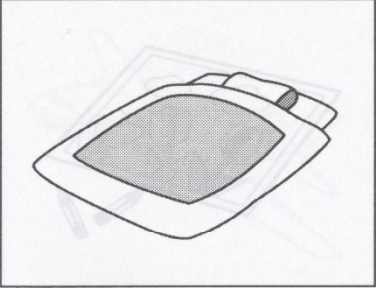
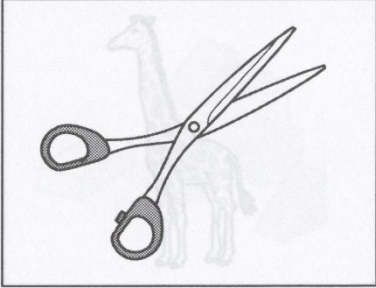
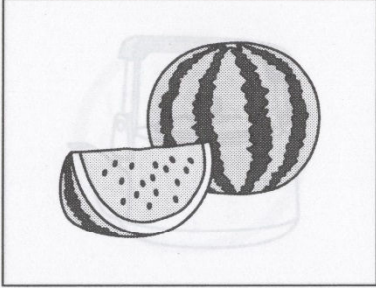
→ 呼称としての文字から、
記号生成としての文字への認識へ

※ 表出（書字もしくは文字配列）学習と
平行できれば効果的

単語の音読解

名詞単語⑩

せんで むすぼう (がつ にち)





| | | | |
|---|--|---|---|
|  |  |  |  |
| ● | ● | ● | ● |
| ● | ● | ● | ● |
| すいか | つくえ | はさみ | ふとん |

A red line connects the dot under the desk illustration to the dot under the word 'つくえ' (table).

100枚プリント「ひらがな読解ワーク」より

単語の 文字配列

もじをえらぼう 1

| | | |
|---|---|--------------------------------------|
|  |  | せ ね も さ み こ も か |
| | | |
| | | |
|  |  | |
| | | |
| | | |

Red arrows point from the vertical list of characters to the empty boxes in the grid, indicating the correct placement of the characters to form words: '傘' (Umbrella) is 'かさ', '猫' (Cat) is 'ねこ', '桃' (Peach) is 'もも', and '竹笠' (Bamboo hat) is 'かさ'.



指導事例

- * 複数の手法を組み合わせ用いている
場合が多い

ワードレベル

キーワード法

1文字単語

各行法

50音表



習得へ



指導事例

A 習得困難例

指導ケース中での
割合は少ない

B 習得不完全例

習得困難ケースの持つ問題点の例

知的水準

構音不明瞭

形態弁別能力の未熟

語音弁別能力の未熟 など

C 習得例

小学校3年生頃ま
でに、ある程度の
習得が得られてい
る場合が多い

習得困難ケースの状況

word レベルまでの到達が多い

習得例

ケース1

書字からの情報が有効だったケース

【文字学習における考え方】

* 学習開始の判断が難しい →

レディネスの個人差
が大きい



まず、トライアルとして学習を始めてみる

- ◆ ルートの模索： 課題継続と転換の判断が重要
- ◆ 関心を高める： 関心の持てる学習素材を検討
⇔ 苦手意識を作らない
- ◆ 学習のタイミング： 暗記能力の高い時期が効果的

* 文字習得のマイナス効果も配慮

例) 構音への影響




→ 声門破裂音の出現 / 誤り音の固定化

おわりに


なぜ文字を学ぶのか

◆ 母国語表記の獲得

◆ 母国語音声の習熟 ~音韻体系・発音方法


-  コミュニケーション手段として
-  文化の伝達
-  思考の高度化

発達障害児にとっての文字とは

 コミュニケーションのために

* 自閉症

→文字を仲介としたやりとりの親近性

 QOLのために

* 一生を通じた学習の素材として

* 読む楽しみのために

* 文字が読めるという自信

参考図書

- 「ことばの発達と障害」 第1巻～第3巻 大修館書店
- 「幼児の読み書き能力調査」 国立国語研究所
- 「子どものかな文字の習得過程」 秋山書店
- 「学習障害児に対する言語・認知発達教育プログラム」
- 「子どもたちの言語獲得」 大修館書店
- 「言語発達遅滞訓練ガイダンス」 医学書院
- 「学習障害」 ブレーン出版
- 「言語聴覚療法臨床マニュアル」 協同医書出版社
- 「脳のメモ帳 ワーキングメモリー」 新曜社
- 「発達の遅れがある子どもの国語」 学研
- 「日本語の誕生」 岩波新書
- 「日本語の歴史」 放送大学テキスト
- 「日本語教育ガイドブック」 ひつじ書房
- 「子供のための日本語教育」 アルク その他